

大島町自治区内

事業名：地域の生活環境の改善・景観づくりを推進する事業

●事業目的

- * 自治区内の景観保全と環境美化活動を推進するボランティア活動の会を運営する。
- * 高齢者家庭からの要請による環境改善。
- * ボランティア活動を通じ会員のコミュニケーションを深める。

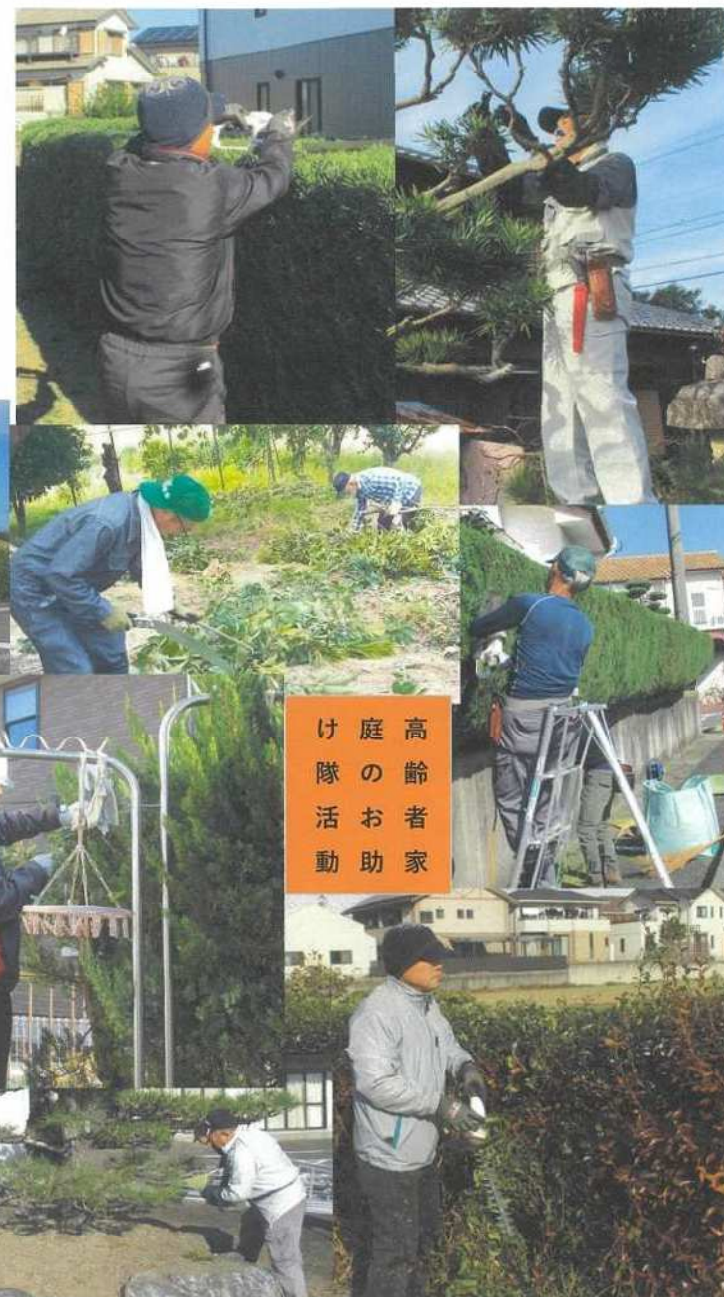
●今年度の活動内容・活動の様子

- ①町内のグランド・マレットゴルフ場の草刈り・周辺の雑草の刈り取り樹木の剪定を通年実施。
②通学路の防犯・安全点検と草刈り作業。
③鴻巣池の環境改善・景観整備。
④高齢者家庭のお助け。

●活動の成果・課題

- ①グランドの整備、使用後の清掃（約70日／年 使用）。
- ②マレットゴルフ場、使用前後の清掃と除草作業
- ③高齢者家庭のお助け（令和6年度16件）

※課題：真夏の暑さで依頼を断るケースもあり、対策が必要！



通学路草刈り

グランド草刈り

マレットゴルフ場草刈り

高齢者の家庭活動

駒豊会

事業名

生駒町4号線沿い遊休地の植栽事業

・事業目的

地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全を図る。

・今年度の活動内容・活動の様子

花壇での作業

- ・トラクター、管理機による耕し、畝づくり、種蒔き、ポット上げ、肥料の散布、終わった花の撤去、灌水（近くの排水路よりエンジンポンプで汲み上げている）を行っています。
- ・花苗は自分たちで種から播いて育てています。
- ・花の植え替えは、年2回（6月〔サルビア等〕、11月〔パンジー等〕）行っています。
- ・花苗を植える時は、周辺の住民の皆さんと子供会との共同作業で行っています。
- ・子供達には、芋ほり、ミカン狩りを体験して頂き、穫ったものは土産として持ち帰り。

環境保全の作業

- ・花壇周辺の草刈り、花壇内の樹木の剪定を行っています。



主な活動場所



・活動の成果・課題

- ・環境保全のために、周辺の草刈り、花壇の整備を行っているのでゴミ捨てが無くなりました。
- ・花壇の花、彼岸花、水仙、花桃、キンモクセイ等が季節毎に花を咲かせ、周辺住民・通行人の皆様の心を和ませ喜ばれている。
- ・周辺住民の皆様の参加を促すPRの検討が必要と考えています。
- ・新規会員の補充が近々の課題です。



令和6年度
大島町花クラブ

▽事業名 花いっぱい事業

▽活動場所 大島町内

▽事業目的

コミュニケーションを図りながら大島町内を
花いっぱいになろう！

▽今年度の活動内容・活動の様子

夏の気温上昇により苗の成長の遅れがあったが
春花、夏花で花壇いっぱい花を咲かす事ができた

▽活動の成果・課題

- ・元気で活気ある活動ができた
- ・クラブ会員の高齢化に伴い若い人の勧誘



7月 夏花壇の草取りと花柄摘み作業



10月 葉牡丹の苗をポットへの移植作業



4月 春花壇の草取り作業



8月 花壇の草取り作業と花柄摘み作業



12月 マルチシートを敷いてパンジー等の苗を植付



6月 夏花壇へマリーゴールド等の苗を植付



8月 ポットへ土入れ作業と花苗をポットへの移植



12月 春花壇へキンセンカ等の苗を植付

団体名：西岡町誌編纂委員会

事業名：西岡町誌編纂事業

主な活動場所：西岡町区民会館

●事業目的

西岡町は豊田市に合併以後市街化区域に指定され、世帯数は昭和初期の約 60 戸から 500 戸近くに増加しました。かつて田や畑と雑木林におおわれていた地域は、今や高密度の住宅地域へと変貌しました。これまでは新旧住民が協力しながら住みよい地域づくりを行ってきました。しかし、こうした地域の大きな変化の中で、西岡町の歴史が忘れられていくとともに、地域への愛着と住民間のコミュニケーションも希薄になりつつあると感じます。

「西岡町誌編纂委員会」は、自分たちの住んでいる地域がどのような歴史をたどってきたのかを知り、郷土愛を深め、住民間のコミュニケーションを増幅し、活力ある地域にすることを目的とし、そのための活性剤となる町誌を作成することを目的としています

●今年度の活動内容・活動の様子

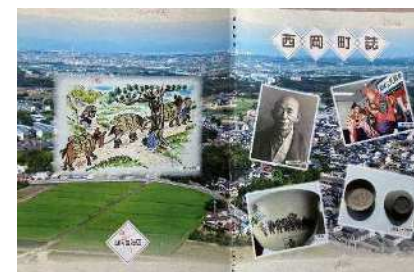
- 編纂委員会：毎月 1 回 11 名の編纂委員によって冊子の原稿作成を行ってきました。冊子の編集については素人ばかりなので要領を得ず、また、資料収集でも失われつつある資料を収集することに苦労しています。昭和初期の状況については古老たちに直接話を語ってもらいましたが、残念ながら戦前に成人された方たちは相次いで亡くなられ、体験談の聞き取りを早くしなければいけない状況です。
- 印刷会社への委託：印刷会社に表紙、目次そしてページの形式を依頼し、基本的な様式はまとまりました。
- 挿絵の委託：冊子の中にできるだけ多く写真や挿絵を取り入れることにより、誰もが開いてみたくなる冊子づくりを目指しています。写真がないページについては挿絵を挿入するように配慮しました。挿絵も心温まる雰囲気が出るような絵を作成してもらいました。

●活動の成果・課題

成果： 全部で 60 項目となりました。内容を検討するうえで、編纂委員間の意思疎通もできつつありますが、世代の違いによって経験や知識が異なっており、共通化することの難しさを体験しています。

課題：文章の基本は出来ましたが、内容の検証等が不十分であり、令和 7 年度の作業となります。冊子に利用した資料をできるだけ添付したいと考えていますが、費用の面で困難なため取捨選択する必要があります。

また、まだ資料が不十分な点もあり、どのようにして適切な資料を収集するか、見栄えをよくするにはどうすればいいかなどを印刷会社に相談しながら進めていく必要があると思います。



表紙案



もくじ案



ページレイアウト案



挿絵



編纂委員会風景

団体名：前林自治区地域猫の会

事業名：前林自治区での地域猫活動

主な活動場所：前林自治区内

●事業目的

- ・野良猫の住宅内での出産子育て、庭畑での糞尿、発情期の鳴き声などの問題を解消し、地域の住環境の改善を図る。
- ・新たな野良猫の発生をさせないよう「猫飼育四原則」の周知徹底などペット飼育に関するマナー向上の啓発活動の推進を図る。

●活動実績

保護活動

令和3年9月に活動をスタートさせて、これまでに49頭の野良猫を保護し、46頭を動物愛護センターにて不妊手術をして自治区内に地域猫として管理し、3頭を里親に譲渡している。

令和6年6月には、前林交流館の駐車場に捨てられていた子猫を保護し、その後当会のボランティアが里親探しをして先住猫との相性を確認して、引き渡すことが出来た。現在里親の下で生活をしている。

アンケート調査の実施

実施日時；11月10日（日）9時～12時

場所；前林区民会館（前林区民文化祭の会場にて）

回答者；100名（目標人数）

調査結果について（一部抜粋）；

昨年度も同内容のアンケートを行っており、73名の回答をいただいていた。昨年度の回答との比較は以下。

〔改善したところ〕

- ・地域猫活動とはどのような活動か知っている。（昨年42%⇒今年61%）
- ・前林自治区内で地域猫活動を行っていることを知っている。（55%⇒73%）
- ・地域猫活動の効果がある。（38%⇒43%）

〔課題があるところ〕

- ・野良猫による被害がある。（昨年55%⇒今年50%）
- ・「猫飼育四原則」を知らない。（83%⇒70%）

●成果と課題/今後の活動

〔成果〕

一部の住民の皆さんより、発情期の鳴き声が減った、野良猫の数が減った、物置でのお産子育てが減ったとの声あり。

〔課題〕

依然として、野良猫の問題があるとの回答が50%あり、問題の1位は庭畑での糞尿、2位は物置車庫での出産子育て、3位は発情期の鳴き声、4位はゴミステーション荒らしなど。

〔今後の活動〕

- ①保護活動の継続と新規の地域猫活動場所の調査・発掘
- ②動物愛護センターの指導、協力を得て啓発活動の推進

地域猫運営会議



保護活動



アンケート調査



団体名：村上忠順翁顕彰会

事業名：郷土の偉人 村上忠順翁顕彰事業

●事業目的

村上忠順翁は江戸末期に高岡町(旧新馬場)に活躍した人物です。刈谷藩の御典医として勤めるのみでなく、殿様の相談役、歌人、国学者そして倒幕の活動を陰で支えました。彼の収集した書物や著のうち2万5千冊余が刈谷市中央図書館「村上文庫」に納められており、江戸時代の文化研究にも貢献しています。明治新政府からも要職に就くことが望まれたが、地元愛から晩年は地域のために医者として地域の人とのふれあいを大切にした人物です。

このような郷土の偉人の功績を、彼の残した日記等を通して検証し、地域の人々に周知するとともに、郷土愛が醸成される地域づくりに貢献することを目的としています。

●今年度の活動内容・活動

5月：顕彰会の総会を開催し、忠順大賞の応募作品、約1500首から選考された優秀作品の表彰と選者久米翠雲先生による作品の講評を実施しました。児童たち、保護者の皆さんにも参加していただきました。

7月：女性部顕彰会を実施。名古屋市の徳川美術館を見学しました。当日は、尾張徳川家の調度品および菩提寺である建中寺の宝物等を鑑賞し、江戸時代を味わうひと時を過ごしました。

8月：名古屋大学名誉教授塩村耕先生による忠順翁の日記『座右記』の講義を4回開催。内容も明治時代に入り、残すところ後僅かになりました。講義内容を「村上忠順叢書」としてまとめ、印刷作業を継続中です。

11月：歴史探訪で村上忠順翁の旅した大井川の「川留め」について島田市博物館を訪れ「川留め文化」について学びました。また、世界一長い木造橋「蓬莱橋」にも訪れました。

12月：前林中学校1年、3年の道德の時間に、忠順翁の生き方を通して前中シッブにもある「愛される人」について話をさせていただいた。

●活動の成果・課題

成果：活動を通して忠順翁に対する関心を高めていただきました。「忠順大賞」については、多くの児童に短歌と忠順翁について知ってもらいました。また、ホームページを開設したことにより多方面からの関心を持っていただけました。(天理大学附属図書館への叢書の寄贈)

課題：事務局業務の多忙化と事務局員の高齢化により現状の活動を維持することが困難になりつつあります。また、会員についても自治区の区長様に協力していただいておりますが、会員の高齢化で減少傾向が続き、新規会員確保についても大きな課題です。



女性部研修会



四方樹大学



歴史探訪



前中での授業参加

サロン・ド・六鹿

〔事業名〕六鹿会館の魅力と価値を広める利用促進事業
〔主な活動場所〕六鹿会館

●事業の目的

明治末年に大地主の邸宅として建てられた六鹿邸はやがて旧高岡村に買い取られ、以後公的諸活動の場として長く活用されてきました。邸には貴重な古民家の佇まいと広い和風庭園が残っています。ここを主な会場として文化的な催しを年間を通して行い、邸の魅力と価値を広め、地域の文化振興に些かでも寄与できたらと思っています。

●令和6年度の活動内容

6月 古典への誘い 「紫式部日記」



10月 芸能鑑賞会 3楽器コラボ、落語、日本舞踊、ヴァイオリン演奏



11月 漢文講座 「史記と日本人」



11月 古典への誘い 「今昔物語集」



3月 花まつり

作品展、山野草展、野点

※写真は令和5年度



●活動の成果、課題

芸能鑑賞会は、例年、和室二間続き30畳の空間で行うのですが、本年度はそれだけでは参会者を収容しきれず、更に隣りの間も使って行いました。嬉しい誤算でした。

古民家六鹿邸は暑さ寒さ対応が難点なのですが、猛暑の時季を避けて夏季にも何か適当な催しができないか思案しています。

Wisley 前林

事業名:前林地域内 素敵な花壇づくり 活動場所:前林交流館

◆事業目的

- ・地域の人たちが集う前林交流館を、花のある潤いの場となるよう、四季を通じて楽しめる素敵な花壇づくりをする。
- ・花のある街づくり講演会や講習会を積極的に開催し、地域の人々の意識の向上を図る。
- ・花壇づくりを通じて、地域の大人と小中学生とのふれあいの場を作るとともに絆を築き、地域に愛着を持ってもらう。

◆今年度の活動内容・活動の様子

- ・種から花苗を作り、交流館の花壇へ植え付け管理をする。また、こども園等へ花苗を提供する。
- ・堤小学校の花壇管理(植え付け、草取り、入学式・運動会等の看板設置等)と、中学校のメイン花壇の植え付け時の手伝いをする。
- ・花のある街づくりの啓蒙活動として講演会や講習会を企画開催する。

◆活動の成果・課題

- ・種からの花苗づくりは、より多くの人々に苗を提供することが出来、四季を通じ花のある風景を多くの人々に楽しんでもらえた。
- ・花壇づくりを通じて小中学生とふれあうことで、絆が生まれ、地域に愛着を持ってもらうことが出来た。
- ・啓蒙活動としての講演会講習会には、延べ100名弱の参加をいただき、花のある街づくりに関心を持ってもらえた。
- ・花いっぱいの潤いの街づくりは、安全で安心して住める街づくりに繋がっている。
- ・今年度の夏は極暑で、花苗づくりに大変苦労した。来年度からは暑さに強い花苗づくりをしていきたい。



砥ぐ蔵

●事業目的:

地域の方たちとともに、家庭の包丁や剪定ハサミ、鎌などの砥ぎ方を一緒に学び、地域の交流を深めることを事業目的とする

●今年度の活動内容・活動の様子(写真参照):

- ① 1回／2ヶ月、一般応募によるの刃物砥ぎ教室を開催
- ② 1回／2ヶ月、講師の指導のもとスタッフの技術 向上を実施
- ③ 1回／2ヶ月、地域公共施設の包丁、剪定ばさみ、鎌などを講師指導の下にスタッフが砥ぐ

●活動の成果・課題:

- ①一般応募の参加者の包丁砥ぎ教室は、地域のお年寄りから若い方も徐々に コロナ禍前の状態に戻りつつあり成果があった
- ②スタッフは、包丁の次にハサミの砥ぎ方を講師より指導を受け、一般の方に砥ぎ方の指導ができるようになり、技術向上につながった
- ③新しいスタッフが入ってこないのが課題、特に包丁を実際に使う女性の方が入ると、更に充実した包丁砥ぎの指導ができると思い、スタッフの募集をする

事業名:
刃物砥ぎを通して明るく地域づくりを推進する事業
主な活動場所:



刃物砥ぎ教室



刃物砥ぎ教室



講師による刃物砥ぎ講座

らくだサロン

●事業目的

地域の子供から大人、老人までみんなが参加できる場所とイベントの提供を行い、自治区花壇の植栽管理を行い、明るい地域づくりを目的とする。

●今年度の活動内容・活動の様子(写真参照)

- ① 1回／2ヶ月の定例会を実施した
- ② 年間を通して自治区花壇のの植栽管理した
- ③ 1回／2ヶ月の懐メロの歌会の開催した
- ④ 4回／年間のイベントの開催: 人形劇、バルーンアート、天体観測、落語会を開催した

●活動の成果・課題

・コロナ禍も過ぎ、いろいろなイベントの企画に多くの方の参加があり、皆さんの笑顔と元気な姿をあり、成果があったと思う
又、季節がとても暑かったり、寒かったりして花壇の管理(花植え、水やり、草取りなどの作業が難しく今後の課題とする

・事業名: ふれあいの場と地域景観作りを通して明るい知己づくりを地域づくりを推進する事

・主な活動場所: 西岡町区民会館ホール



①1回／2ヶ月の定例会



②自治区花壇の植栽管理



③1回／2ヶ月の歌会



④人形劇



④バルーンアート



④天体観測星の講座



④落語会

西岡神楽保存会

* 事業名：西岡町の伝統芸能である神楽を通して明るい地域づくりを推進する事業

* 主な活動場所：西岡町区民会館ホールと西岡町神明社

●事業目的：

地域の伝統芸能である神楽を復活し、伝承活動を継続実施する。地域のイベントに積極的に参加し地域づくりに貢献する。参加する子供たちに地域の伝統を継承するボランティアを経験し、地域への思いを深めてもらうことを事業目的とする

●今年度の活動内容・活動の様子(写真参照)：

- ① 2回／1ヶ月練習を実施した
- ② 自治区敬老会に参加し、子供と老人のコミュニケーションの場所づくりをした
- ③ 4回／年間の地域のイベント(敬老会、夏祭り、秋祭り、大晦日)に参加した

●活動の成果・課題：

・コロナ禍は過ぎたが地域のイベントが元に戻らず、人の集まりの少ない中、積極的にイベントに参加し地域の活性化に務めた。



①2回／1ヶ月の定例練習



①2回／1ヶ月の定例練習



②敬老会で披露



②敬老会で披露



③秋祭り



③夏祭り



③大晦日

前林郷友会

事業名
活動場所

元気で、明るい、すみよい前林町づくりを推進する事業
前林自治区内

事業目的

- 1 御神楽(お囃子・巫女舞)要員の募集と練習育成して伝統文化の復活・継承発展
- 2 『あそぼまい』事業で地域のお祭りを盛り上げ、地域の活性化をはかる。
- 3 『ふれあい広場』を通して、子ども会と【子ども防犯と交通安全】を勉強、又イベントグッズを
共にすることで、気軽に声掛けができる雰囲気をつくり、緊急時一次対応を地域ではかる
【安心・安全な地域づくり】

御神楽事業



今年度の活動内容・活動の様子

『あそぼまい』事業

- 1項 ・ 御神楽演奏のレベルアップを図る為に、外部講師を招いて練習に励んだ 6回／年
- ・ 巫女里舞の指導者交代 外部研修会に参加させ、技量アップをはかりました。
一人 ⇒ 二人体制 研修 3回 練習 12回 成果発表会 2回(お祭り・年末)
 - ・ 巫女浦安舞 練習 8回 成果発表会 2回(お祭り・年末)



2項 『あそぼまい』事業

- ・ 『あそぼまい』事業、金魚すくい・スーパーボールすくい・風船ヨウヨウ釣りを展開した。
来場者数 延 205名

『ふれあい広場』事業

- ・ 父兄、祖父祖母が孫の手を引いての微笑ましい好景がみられた。大変盛況であった。

3項 『ふれあい広場』事業

- ・ 自治区内 3子ども会・1キッズサークル・子ども会に入っていない子どもに声掛けし
136名の参加をえた。
内容 コナン君防犯ビデオによる防犯教育
私の『バックンマグ』づくり

